



栗山村長が初登庁

7月17日の村長選挙告示で無投票当選した栗山忠昭村長が、7月25日に初登庁。

役場玄関前で職員らに拍手で出迎えられ、続いて行われた着任式で「川上村を守るため、職員にも頑張ってもらいたい。」など最初の訓示を行いました。

● 主な内容 ●

大谷村長お疲れさまでした	2～3
栗山新村長挨拶	4
田舎暮らしプロジェクト	8～9
加太小交流学習会	10
かみせ祭のお知らせ	13
図書館だより	15



広報かわかみ

平成24年 8月10日発行

発行 奈良県川上村

編集 川上村広報編集委員会

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7

TEL. 0746-52-0111

ホームページアドレス <http://www.vill.kawakami.nara.jp>

メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp

川上宣言

一、私たち川上は、都市や平野部の人たちにも、川上の豊かな自然の価値に触れ合ってもらえるような仕組みづくりに励みます。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。)
(毎号1項目ずつ掲載していきます。)

大谷村長、お疲れ様でした

7月24日に、大谷一二村長の退任式が役場会議室で行われました。大谷村長は、全国自治体首長の中で最高齢の88歳。村長8期32年の間、村政を率いて大滝ダム建設を受け入れる一方、水源地の森（三之公原生林）の購入などさまざまな施策を展開してきました。また、大阪工業大学や関西電力労働組合との連携協定の締結などは、水源地の村づくりの具現化に大きな推進力になるものです。長年に渡り、本当にお疲れさまでした。



退任式で最後の訓示を行う大谷村長

大滝ダムは昭和34年の伊勢湾台風が契機となり、調査から試験湛水まで半世紀以上を要してきました。「東のハツ場、西の大滝」と揶揄されるほどの強い反対運動とともに建設事業は困難を極めた時代もありました。平成15年には試験湛水中に白屋地区に地すべり問題が発生し、中断。本年6月に試験湛水を終了しました。昨年9月の台風12号は伊勢湾台風雨量を超えましたが、大滝ダムは治水の役割を果たしました。下流の人たちから感謝され、ダム事業を受け入れて良かったと実感しました。ただ、上流が犠牲になって下流を支えていることを忘れて欲しいと思います。

大滝ダムと共に村政を振り返る

昭和34年 9月26日	伊勢湾台風が本村を直撃、村史未曾有の災害
昭和35年 4月	大滝ダム予備調査始まる（建設省）
昭和45年 4月28日	大迫ダム本体工事着手
昭和47年 2月19日	川上村の「村章」決定
昭和49年 6月7日	大迫ダムが完成
昭和55年 7月25日	大谷一二氏が村長就任
昭和56年 10月24日	大滝ダム建設の着工同意に関する覚書、確認書を川上村、奈良県、建設省三者で締結
昭和57年 4月1日	吉野広域消防組合が業務を開始
昭和58年 3月6日	「川上村新総合計画」が策定
昭和59年 8月18日	村のシンボルを決定。木：杉、花：ヤマブキ、鳥：ヤマガラ
昭和60年 9月20日	川上東小学校、川上西小学校が新設
昭和61年 5月18日	かみせ祭が開催
昭和62年 5月30日	川上村木工センターが開所
昭和63年 4月30日	湖底サミットを河原（大津古）で開催
昭和63年 5月17日	全日本仙人選手権大会を開催
昭和63年 7月21日	大迫ダムづくり公園がオープン
昭和63年 8月23日	木工の里にトントン工作館・ログハウスフレンドが開館
昭和63年 9月30日	村営ホテル杉の湯がオープン
昭和63年 10月24日	全国川上サミットを開催
昭和63年 11月3日	役場庁舎、商工・労働会館が迫（佐本団地）へ移転
昭和63年 11月17日	国道169号線大滝～迫区間が開通
昭和63年 11月30日	川上村社会福祉協議会が発足
昭和63年 12月1日	吉野広域行政組合を設立
昭和63年 12月17日	総合展示会第30回記念展を「山幸彦まつり」として開催
昭和63年 12月27日	大滝ダム本体着工記念式典及び本体工事安全祈願祭を挙行
昭和63年 12月31日	川上村が「全国地域づくり推進協議会長賞」と「日本開発銀行総裁賞」を受賞
昭和63年 1月1日	吉野クリーンセンター（吉野広域行政組合）が業務開始
昭和63年 1月31日	政府登録国際観光旅館に「ホテル杉の湯」が登録
昭和63年 4月24日	林業資料館 山幸彦のむくもく館がオープン
昭和63年 5月1日	全国川上東京事務所（文京区駒込）に開所
昭和63年 5月12日	川上村歯科診療所が開業
昭和63年 7月7日	入之波温泉五色湯がオープン

和歌山市長から大谷村長に 感謝状贈呈式

7月24日に、大橋健一和歌山市長が来庁し、役場会議室で感謝状贈呈式が執り行われました。

これは、かけがえのない水の生まれる源流の地を守り育てることに尽力し、吉野川（紀の川）の恵みを支えてきたことに対し贈呈されたものです。

大滝ダム建設や平成13年に始まった小学校の交流学習会、平成15年からの和歌山市民の森づくり、環境基本条例など、きれいな水を守る取り組みが評価されたものと考えています。



大橋市長から感謝状を贈呈される大谷村長

本村は全国自治体の中でも早期に水源地となる森林の購入・保全を取り組みました。現在、全国多くの自治体が購入・保全に取り組んでいます。本村の三之公に広がる「水源地の森」は740haと規模も突出し、最大規模となっています。まだまだ、行政が水源地の保全に乗り出すのは珍しかった時代のことです。

川上宣言の一つ目に「私たち川上は、かけがえのない水がつくれる場に暮らす者として、下流にはいつもきれいな水を流します。」とあります。蛇口から水が出るのが当たり前とされている方もいるでしょう。しかし、その水を生み

出す水源地を守らなければなりません。それを守る人がいることを下流に発信する意味を込めての購入でもありました。

一方、林業や教育、過疎化や少子高齢化等々、課題は山積みであります。まさしく再建半ばで退任することには心苦しく感じております。が、いよいよ「ダム後の村づくり」の「はじまり」と捉え、新村長にバトンを渡させていただくことにしました。川上村の益々のご発展を祈念いたしますとともに、あらためて議会の皆さまをはじめ村民の皆さまに心より感謝申し上げます。

《大谷村長談》

平成24年 7月19日	平成24年 3月24日	平成24年 12月	平成23年 11月	平成23年 9月	平成23年 7月	平成22年 11月	平成22年 7月26日	平成21年 9月	平成21年 4月1日	平成20年 5月18日	平成18年 8月24日	平成15年 3月	平成14年 4月	平成13年 10月	平成11年 5月23日	平成10年 3月23日	平成8年 4月1日	吉野三町村老人福祉施設「さくら苑」がオープン
																		全国川上町村連絡協議会が「川上宣言」を採択
																		大滝ダム本体コンクリート初打設
																		国道169号線迫下多古区間が開通
																		大滝ダム定礎式
																		木匠塾サマースクールを開催
																		匠の聚がオープン
																		川上小と加太小（和歌山市）との交流学習を開催
																		川上総合センターやまぶきホール、村立図書館、森と水の源
																		流館がオープン
																		大滝ダムコンクリート打設を完了
																		国道169号線伯母谷道路が開通
																		大滝ダム試験湛水を開始
																		白屋地区の地すべり問題により大滝ダム試験湛水を中断
																		和歌山市と「吉野川・紀の川水源地保護に関する協定書」に
																		調印、締結
																		第1回川上村剣道交流大会を開催
																		第1回まるごと吉野杉フェアを開催
																		望郷の碑除幕式典を挙行
																		やまぶきバス・やまぶきタクシーが運行開始
																		川上村環境基本条例を制定
																		まるごと吉野杉フェアをジャパンホームショーとして参加開催
																		大阪工業大学と「奈良県川上村と大阪工業大学との連携・協
																		力に関する協定書」に調印、締結
																		かわかみ遊水フェスタを開催
																		川上村環境基本計画を策定
																		全国源流サミットを開催（山梨県道志村）
																		「こころのつながりプロジェクト」を座かんさいと共催
																		台風12号により西谷橋流失
																		第35回全国育樹祭併催行事「全国育林交流会」を開催
																		おかげ米贈呈式を開催。大和平野土地改良区から「おかげ米」
																		約9トンが村に贈呈
																		大滝ダム試験湛水を再開
																		西谷仮設橋が開通
																		大滝ダム試験湛水を完了
																		大谷村長退任、栗山忠昭氏が村長就任



大好きな「川上村」を守りたい!!

川上村長 栗山 忠 昭

この度、皆さまのおかげで川上村長に就任させていただきました。いまだ大谷村長のもとで副村長として村政に携わってききましたが、改めて村の長としての立場、その重みを日に日に感じております。今月から、1年弱をめどに私の想いを広報の紙面で皆さまに伝えたいと思います。

「ダム後の村づくり」が、いよいよ現実のものとなりました。大滝ダムの試験湛水も無事に終え、来春にはそのダムも完成、運用される見込みです。

川上村は、平成6年に村づくりのテーマを「水源地の村づくり」に定め、樹と水と人の共生をめざすこととしました。

平成8年には、新しい村^{そんぞ}はとも言うべき「川上宣言」を全国に発信し、森を守り美しい水を流し続けることを決意しました。

そして今も、緑のダム（水源地の森）とコンクリートの2つのダム（大迫ダム・大滝ダム）と共生することを覚悟しています。

これら、18年前の決意は、今やさらにその評価が高まり、国や奈良県などから大きな期待を寄せられています。とともに、次の世代へもつなげるべき大事な施策であることを確信しています。

一方、村内には多くの課題が山積みであることは十分承知しています。林業や教育、少子高齢化等々。中でも深刻なのは源流域の活力（体力）が急速に衰えていることです。

地域や集落そのものの存続が危うくなっていることに大きな危機感を覚えます。

源流域が元気でないと、森を守り美しい水を流し続けることは至難であります。その役割を果たしたいと思っても「人」がいない、森を守る人がいません。

私は、この厳しい現実をしっかりと見つめ、皆が納得いく方途方策を考えたいと思います。このことが私に課せられた最大の任務であると認識しています。

何としても「川上村に住んでよかった」と思っていたくためにも多くの皆さんのお知恵とお力を結集し、心を一つに、水源地の村

川上村長選挙結果

7月17日に告示された「川上村長選挙」の結果、届け出は栗山忠昭氏のみでした。これを受け、栗山氏が村長に無投票当選しました。

《届出人》

氏名 栗山忠昭氏

住所 川上村迫381番地の1

《選挙人名簿登録者数》

7月16日現在

有権者数 1、629人

男 755人
女 878人

川上村選挙管理委員会

第4回 川上村議会臨時会

8月3日に、平成24年4回川上村議会臨時会が開催されました。

川上村副村長の選任について同意を得たものです。

◎副村長の選任について

栗山忠昭氏（迫）は、平成24年6月14日をもって副村長を退任したので、新たに松村悦治氏（人知）を選任することに議会の同意を得たものです。

支援物資など

温かい応援を
いただきました

（敬称略）※7月31日現在

《見舞金・寄付金》

島原市消防団

3万円

人事異動《敬称略》

◎退任（7月31日付）

教育長 辰巳 武實

◎就任（8月6日付）

副村長 松村 悦治



ごあいさつ

川上村副村長 松村悦治

32年ぶりに村のリーダーが交代。

新しい村長のもと「ダム後の村づくり」を具現化しなければならぬ。有史来の一大転換期に新村長を補佐する副村長という大役を仰せつかり、その責任の重大さを痛感しています。

申すまでもなく、本村には「ダム完成後の村づくり」をはじめとして、少子高齢化問題や教育、産業・地域振興等々多くの難題が山積みしています。

これら課題解決の指標として平

成6年に制定した「水源地の村づくり」が村のあるべき姿を示しています。着実に一步一步前進させ、その成果を村民皆さまにお示しすることが重要と考えています。

そして、住民皆さまの声の代弁者であります「議会」と「行政」が十分議論を交わす中から、一体となってダム後の村づくりを行っていきたいと考えています。

「政治は住民みんなのために」を肝に銘じ、微力ではありますが精一杯この職責を全うする覚悟でいます。皆さま方の忌憚ないご意見をお聞かせいただくことをお願いいたします。就任のごあいさつとさせていただきます。

こんな仕事も請負ます！

シルバー人材センター

お気軽にご相談ください。

障子やふすまの貼替・着物の着付け・簡単な水道工事・電気工事・大工仕事・植木の剪定・ペンキ塗り・屋根掃除・樋掃除・畑の草引き・その他畑仕事・調理・包装・経理事務・パソコン・集金など

【問い合わせ先】川上村シルバー人材センター事務局

TEL 0746・52・0300

第40回差別をなくす村民集会

7月30日に、やまぶきホール(宮の平)で「第40回差別をなくす村民集会」を開催しました。

今回は「出会いに学ぶ」と題して、丸子孝仁氏(差別をなくす奈良県宗教者連帯会議事務局長)による講演が行われました。

人権は、すべての人が生まれながらに持っている権利です。人権は特別なことではなく、毎日の生活の中の身近にある問題です。

村民集会を契機として、「人権」を身近な問題に捉え、考えてもらうきっかけになれば幸いです。



「出会い」について語る丸子孝仁氏

犯罪や非行を防止し 立ち直りを支える地域の力

7月6日に、社会を明るくする運動実施委員会による啓発パレードが村内一円で行われました。

また、中学校・小学校・保育園では、運動について説明し、運動推進のための啓発物品の配布を行いました。

人は変わることができる。

そう信じることから、更生保護はスタートします。



川上中学校で出発式、記念撮影

川上村立図書館・森と水の源流館 開館10周年記念講演会

ネイチャーフォトグラファー **内山りゅう氏**

日本の美しい水・川上村の自然と魅力

「レンズに写った清流の宝物」



観察会でカワヨシノボリをつかまえ、分ける内山氏

内山りゅう氏は水中写真家で、「水」に関わる生き物とその環境の撮影をライフワークとしています。特に淡水に棲む生き物に力を入れており、その写真はさまざまな図鑑などに使用されています。今回、水源地の村づくりに取り組む川上村の村立図書館と森と水の源流館が10周年を迎えた記念に

「奈良県山の日・川の日」である7月16日に、ネイチャーフォトグラファー内山りゅう氏を招き、村立図書館と森と水の源流館の開館10周年記念事業を開催しました。午前は、内山氏と一緒に「水生生物観察会」をチゴロ淵（中奥川）で主に村内の子どもを対象に実施しました。午後は、内山氏による記念講演をやまぶきホール（宮の平）で開催しました。これからも、水源地の村づくりにご理解並びにご協力をお願いします。

講師に招き、実施したものです。

午前の水生生物観察会には村内外から大人20名、子ども22名の合計42名の家族が参加し、チゴロ淵で開催されました。夏らしい晴天に恵まれ、冷たい川の水が心地よく、観察会は大盛況となりました。またこの日、観察された生き物は次の21種類でした。

◎陸生

《昆虫》

ミヤマカワトンボ・コヤマトンボ・アキアカネ・ナミハンミヨウ

◎水生

《昆虫》

オオアメンボ・キイロヤマトンボ（幼虫）・タニカワカゲロウの一種（幼虫）・ガガンボの一種（幼虫）・ナベブタムシ・ダビドサナエの一種（幼虫）・オオヤマカワゲラ（幼虫）・ヘビトンボの一種



多くの水生生物が見つかりました

これらの生きものが生息していることから、中奥川はきれいな水であることが確認されました。

《両生類》

カジカガエル

《爬虫類》

ヤマカガシ（幼体）

アマゴ・アユ

《魚類》

カワヨシノボリ・タカハヤ・

《節足動物》

サワガニ

ウ・サワダマメゲンゴロウ



興味津々の子どもたち



午後の記念講演会には約180名が参加し、内山氏の今までの活動を踏まえた体験談を交えて行われました。

内山氏は、「地球上の水の97%が海水で、残りの2%は氷河、残りの1%を使えるのかというと実はそうではない。我々が使える表面を流れる水は1%もない、0.001%しかない。地球全部の水を風呂桶一杯に例えると、淡水はコップに半分以下といわれています。それくらい淡水というのは少なく貴重だということです。」と飲料水の大切さと本村の取り組みに高い評価をいただきました。

今回講演いただいた内山氏には、川上村を撮影のフィールドに加えていただき、カワノリやシンラン、ヒメイノモトソウなど貴重な生きものをプロの写真として発表していただければと考えています。また、今後も交流を深め、本村の魅力の発信にもご協力いただければと思います。

つい見落としてしまいがちな身近な美しい自然について再認識いただくきっかけとなればと思います。そして、これら美しい自然を子どもたちへ引き継いでいけるように、皆様のご理解とご協力をお願いします。



国外と比較し、水に恵まれた私たちの状況を説明



命のもととなる美しい水と生き物に力を入れる内山氏



内山りゅう氏と一緒に観察会参加者全員で記念撮影

「田舎暮らし」に興味ある人、川上村に集まれ〜！
田舎暮らし体験ツアー！

7月27日から29日の3日間にわたり、「川上村田舎暮らし体験ツアー」を開催しました。

これは田舎暮らしを希望する都市部の方を対象に、実際に本村に滞在してもらい、不安や疑問の解消を行うことで、村内移住のきっかけにしてもらうことを目的に企画したものです。今回のツアーには親子2組、夫婦1組、単身4組の合計14名が参加しました。村内施設や空家を見学したり、これまでに移り住んだ家族との交流などを行いました。



小学校や保育園なども訪問し、保育や教育などの状況を確認

本村では、住まいるネット（空

家バンク）事業に取り組み、7月31日現在で22組44名の移住の受け

入れを行ってきました。

空家物件の確保もさることながら、移住を希望する方に村を知ってもらうことにも苦慮してきました。インターネットでの配信やパンフレットなどを配布していますが、百聞は一見に如かず。実際に村へお越しいただき、肌で感じてもらう、移住希望者の後押しになればと企画しました。

参加者は奈良県内外から集まり、遠くは神奈川県から参加をいただきました。

初日は、匠の聚（東川）でオーブンセレクトメニューが行われ、2泊3日のツアーが始まりました。

まずは、小学校や保育園、図書館などの施設見学を行いました。



移住の先輩家族と実体験を踏まえた意見交換

各施設では、案内を受けて、日頃のようにすや取り組みについて説明を受けました。

その後、中井溪谷自然 楽しんだり、食事をしながら情報交換を行いました。

本村では忘れられがちな美しい水と空気などを参加者は満喫。村民との交流により、子育てに対する不安が薄れたように伺えました。

2日目は、高原でトマトやキュウリなどの野菜収穫体験や地域の

こんにちは
保健師です



これからの残暑を快適に過ごすために夏バテを解消しましょう！
「体がだるい」「やる気が起きない」「食欲が出ない」など、なんとなく体調がよくないと感じていませんか。

日本の夏は高温多湿で、体にたまってくる熱を捨てて体温を一定に保とうとします。その時に体は必要以上のエネルギーを消費し、かなりの負担に耐えます。が、その暑さに適応できず、自律神経に狂いが生じてくると水分の循環がうまくいかず、熱がうまくだげられなくなり、熱が出る・だるくなると胃腸の働きが弱まり食欲もない：という状態となります。

◆バランスのよい食事

暑い時期は、脂肪が少なく糖質の多い食生活になりがちです。脂肪や糖質をエネルギーに変えるには、ビタミンB1が必要です。ビタ



参加者の皆さんと記念撮影

方と料理づくりや食事交流しました。その後、先輩移住者宅を訪問し、体験談を話してもらいました。

3日目は、登録されている空家物件を訪問し、見学しました。

中奥や西河の集落内を歩きながら空家の周囲の状況なども確認していました。

参加者からは、「はじめての企画で、職員の手作り感が温かく、良かったと思う。」など今回のツアーについて感想をいただきました。また、そのほか、「地域の良い面ばかりを見せてもらったような気もする。冬の厳しい環境など

も見せてもらいたい。」「職場が近くにあれば移住したいが、どこかありませんか。」など、移住のための慎重な情報収集を感じていました。

この2泊3日のツアーでは、郷土料理や野菜収穫体験などの準備やツアーの裏方として、村民の皆さんにボランティアとして協力をお願いいただき、ありがとうございました。

本村としては、少子高齢化への対策の主軸事業として、今後住まいるネット事業を推進していきたいと考えています。

賃貸にご提供いただける空家などありましたら、役場水源地の村づくり課までご連絡ください。皆



手頃な空家をお持ちの方は住まいるネット事業をご検討ください。

さんのご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

役場水源地の村づくり課

TEL 0746・52・0111

ミンB1が不足すると疲労感や脱力感が生じ夏バテ症状を悪化させてしまいます。

ビタミンB1は豚肉、レバー、うなぎ等に多く含まれます。

また、夏の緑黄色野菜にもビタミンB1・B2・Cやカロチン・鉄・カルシウム、カリウムなどのミネラルが豊富です。旬の食材を中心としたバランスの良い食事、疲れを溜めない体づくりを心がけましょう。

◆適度な運動と入浴で疲労回復

ラジオ体操などの軽い運動が効果的です。また、ぬるめのお風呂にゆっくり入ると自律神経を落ち着かせ心身がリラックスします。

◆水分補給

「のどが渴いた」と感じたときには既に水分不足になっていることが多いです。こまめに摂りましょう。スポーツドリンクは体液の成分に近く吸収されやすいですが、糖分も多く含まれています。普段は水で十分です。

◆心地よい睡眠

室温だけでなく、湿度を下げるのと体から熱が放散されよく眠れます。ただし冷やしすぎは血行が悪くなり逆効果です。うまく調整するようにしましょう。

川上小学校と加太小学校の交流学習会



7月23日に、川上小学校と加太小学校（和歌山市）が交流学習会を開催しました。

この交流会は、吉野川（紀の川）の上流と下流の交流の一つとして始まったもので、今年で12年目を数えます。8月には川上小学校の児童が海辺の加太を訪問して交流学習を行いました。

7月23日、両校児童は森と水の源流館前広場で「出会いの式」を行い、グループに分かれ自己紹介を行いました。

その後、チゴロ渕（中奥川）に会場を移し、辻谷達雄師範（森と水の源流館）から森の恵みについて話を聞きました。「森の恵みは清らかな水だけでなく、空気や食料など多岐にわたり、お金に換算すると千兆円（林野庁試算）にもなります。人は、森の恵みなしには生きられない。」と森の大切さを辻谷さんは話してくれました。

続いて、県の魚に指定された「アマゴ」の掴み取りを行いました。ぬるっとした感触に戸惑っていた加太の子どもたちも、すぐにコツをつかみ、アマゴを両手で握りしめていました。

最初は恥ずかしそうにしていた子どもたちも、川遊びを通じて打ち解けて、両校児童は時間ぎりぎりまで川遊びに夢中になっていました。

川小PTA、川上漁協、大辻商店など多くのご協力をいただきました。ありがとうございました。



辻谷師範の話を聞く子どもたち



林業資料館に集合、交流学習は始まりました。

7月3日に、水のつながりプロジェクトが開催されました。これは、水源地域の川上小学校と大和平野の明日香小学校が吉野川分水の歴史と効果や互いのつながりについて学習することを目的にしています。残念ながら今回は気象警報の発令があり、途中で交流学習を終えました。この雨も吉野川分水を通して恵みの水として利用されているのでしよう。

**水のつながりプロジェクト
明日香小学校と交流学習**

～川上村既存木造住宅耐震診断支援事業のご案内～

耐震診断を受けてみませんか？

地震から
大切な命を
守るために…

多くの犠牲者を出した平成7年の阪神・淡路大震災における犠牲者の9割近くが住宅の倒壊による圧死・窒息死によるものでした。

地震から家族と財産を守るには、強いわが家にするのが不可欠で、その第一歩がわが家の健康診断ともいえる「耐震診断」です。

川上村では、「耐震診断」にかかる費用の全額を助成する事業を行っています。

この機会に「耐震診断」を受けてみてはいかがでしょうか。

1. 助成の対象となる住宅（次のすべてを満たすものが対象となります）

- ・村が定める区域内にある木造住宅のうち、昭和56年5月31日以前に着工されたもの
- ・延床面積が250㎡以下でかつ、階数が2以下のもの（地階を除く）

2. 助成額

- ・1つの対象住宅にかかる費用の全額を村が助成します。

3. その他（留意事項）

- ・耐震診断を受ける前に、申込手続きをしていただくことが必要です。
- ・上記のほかにも各種要件がありますので、役場地域振興課までお問い合わせください。

《受付期限 平成24年8月20日(月)～10月31日(水)》

【問い合わせ先・申込先】 役場林業建設課 TEL 52-0111 FAX 52-0345

清流

8月終戦に思う

「願わくは、花の下にて春死なん」私が戦地から家族に送った最後の手紙です。死ぬ時は故郷の桜のような綺麗な花の下で…と書き添えました。

私は昭和16年10月入隊。大阪信太山で野砲隊に所属。当時23歳。

それ以来、満州の牡丹江へ、そして昭和16年12月8日、日本軍による真珠湾攻撃により太平洋戦争勃発。私にも転属命令が下り、行方も知らされず乗船し、辿り着いた所が南の島サイパン島でした。

米軍の来襲に備え高射砲の陣地構築を始めました。米軍の空爆が日毎に厳しさを増し、蜂の巣を散らした様に爆撃。辺り一面が火の海と化しました。昼間は進めず、暗闇の中の移動です。一度仲間からはぐれたら、再び隊に戻ることは難しいのです。

昭和19年7月…サイパン戦末期。

私は、バンザイ岬の近くまで追い詰められました。すでに負傷した右肩は血にまみれ「もう、これ以上生きていくのは無理！」この時、私は死を覚悟しました。その時、戦場に真っ赤に咲く花を見つけ、

その下に自分が寝れる程の穴を掘り、手榴弾を片手に美しい故郷と家族を思い浮かべ死を決意したその時、全身傷を負った日本兵がジャングルの中から出てきたのです。ひどい怪我で体にはハエとウジ虫が群がっていました。

「ここに手榴弾がある。私と一緒に死のう。」と私が言うのと、「何て事を言うんや！俺はこの体でいつまで生きられるか分からん。お前は右肩を怪我しているだけや！死ぬ事なんか考えたらあかん。もっと生きるんや！」その戦友が私に怒鳴りつけました。「俺の体に付くハエを追う役でもいいから頑張って生きろ！」そう言って、私を励ましてくれましたが、攻撃が激しくなり、その戦友とも離れてしまいました。

その後の消息は分かりませんが、地獄の様な激戦の中、あの真っ赤な花と、傷だらけの戦友だけが、私に「生きる力」をくれたんです。

あれから68年…今でも忘れた日は一度もありません。私が体験した生き地獄。決して忘れてはいけない戦争の恐ろしさ。戦友や戦場に散った多くの人々のためにも、その事を後世に語り継いでいく事が、生き残った私の使命であると思っています。

栗山寅三

第22回 世界少年野球大会に出場！



7月25、26日の2日間にわたり、下北山スポーツ公園で「第22回世界少年野球大会（世界少年野球推進財団などが主催）」の国際交流試合が開会され、15の国と地域から少年少女約340人、本村の川上ビッグボーイズも奈良県代表として参加しました。

今回の大会は、昨年の台風12号で被災した紀伊半島の少年少女に元氣と勇気を与えようという願いも込めての開催となりました。王貞治・同財団理事長との記念撮影が行われ、会場に笑顔があふれました。

ビッグボーイズは26日に、韓国選抜チームと対戦。8対6と敗れましたが、堂々としたプレーを見せてくれました。

《世界少年野球大会観戦記》

1日目は、今大会の組織委員会会長を務められている王貞治氏が会場に来られました。現役時代を直接知らない子どもたちでも「世界のホームラン王」は知っています。写真を一緒に撮影、1人ひとり握手と声をかけてもらいました。大選手と触れ合えたことは貴重な体験となったことでしょう。

さて大会2日目、ビッグボーイズは韓国選抜チームとの交流試合に臨みました。いつもの少年軟式野球とは違い、ボールは準硬球と呼ばれる少し硬めのボールを使用。バットも今大会用の金属バットです。ルールもリードや盗塁が禁止となっており、どうなるか心配でしたが、初回にいきなりの先制点を挙げました。しかし、さすが韓国選抜チーム。最終回裏のビッグ

ボーイズの攻撃の前には8対2と大差を許してしまいました。

それでも、ここからが本領発揮と4点を返しましたが、今一歩及ばず、8対6で負けてしまいました。とはいえ、山奥の少人数のチームが、一国の選抜チームに引けを取らない試合ができたことは、子どもたちに大きな誇りになったことでしょう。試合後、中国・韓国・奈良県代表チームで、交流川遊びもあり、国籍など関係なく一つになって楽しんでいました。

このような貴重な体験をさせていただいたのも、監督やコーチ、部長と大会関係者、応援いただいている多くの方のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。まだまだ大きな大会を控えています。これから応援をお願いします。

倉向 義邦



かみせ祭

福引抽選会
豪華賞品いろいろ

と き 平成 24 年 8 月 18 日 (土曜日)

午後 4 時～／雨天決行 (中止の場合は防災無線で連絡します)

ところ 迫 川上村役場前広場 ※飲酒運転は、しないでください

ビンゴゲーム 豪華賞品
中学生以下 **大会**
先着 200 名
参加受付 16 時 30 分～17 時 00 分

射的・金魚すくい
他 夜店も
いろいろ
あるよ!



タイムスケジュール

ちびっこ龍幻	16:00～16:20
オープニング	16:20～16:30
ビンゴゲーム大会	17:00～18:00
和太鼓演奏「龍幻」	18:10～18:40
盆踊り大会	18:40～20:30
福引抽選会・お菓子まき	20:40～21:20

盆踊りの時間を長くしました。
音頭取りのできる方、太鼓の打てる方、
ぜひご披露、ご協力ください。

主 催

かみせ祭実行委員会

(川上村商工会・商工会青年部・商工会女性部・木匠塾・南都銀行川上支店)

問い合わせ先
後 援

☎52-0127 川上村商工会
川 上 村

～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわがみ満足ガイド

吉野川・紀の川源流まつり

と き 平成24年 9 月 9 日(日) 10:00～15:30

◇物産展 10:00～14:00

◇講演会 14:00～15:30

ところ 森と水の源流館、やまぶきホール

川と水の恵みでつながる人々、日本全体、地球まるごとの水や自然環境を考える仲間たちが集まり、交流する一日です。

吉野川・紀の川の流域市町村が一堂に会して、さまざまな特産品が並びます。「モノ作り体験」や「吉野川・紀の川ふれあいデー」「水環境に関する講演会」も同時開催。

●水環境に関わる講演会

と き 平成24年 9 月 9 日(日) 14:00～15:30

ところ やまぶきホール (宮の平)

「紀の川・吉野川 食と水のつながり～紀の川市での食育のまちづくりの経験を踏まえて～」

講師 田中卓二氏 (農林水産省関東農政局整備部水利整備課長・元紀の川市理事)

「食育のまち」宣言を近畿ではじめて行った紀の川市役所での経験から、食や水を通じた紀の川・吉野川流域のつながりについて皆さんと一緒に考えます。

《講師プロフィール》

田中さんは平成19年から4年間、同市理事、農林商工部長を務め、同市の「食育のまちづくり」推進を支えた。現在は関東農政局で、東日本大震災による農業施設の復興対策に従事。自ら『紀の川のほとりで』『紀の川市ぶるぶる娘の歌』などの歌を作詞作曲し、地域を盛り上げた。

《水源地の村づくり課 TEL 0746-52-0111》

ふるさと市開催日

【8月】11・12・25・26日

【9月】1・2・8・9・15・16・17・22・23・29・30日

《役場地域振興課 TEL 0746-52-0111》

復興のノロシ!!

と き 平成24年 8 月30日(木) 19:30前後 **ところ** ホテル杉の湯付近

あすかロータリークラブによる川上村の「復興のノロシ!!」、打ち上げ・仕掛け花火が約270発。

約5分間ではありますが、杉の湯周辺で心に残るひと時をお楽しみください。立入禁止区域がありますので、ご注意ください。

《ホテル杉の湯 TEL 0746-52-0006》

山の学校 達っちゃんクラブ

★森を作ろうDAY & 15周年記念お餅つき

と き 平成24年 9 月29日(土) 10:00～15:00

定 員 50名

参加費 大人1,000円／小人無料

今年で15周年を迎える達っちゃんクラブをお祝いし、皆さまへの感謝を込めて賑やかに餅つきを行います。また、達っちゃんクラブの森の整備と記念植樹も一緒に行います。



参加者が森づくりに取り組んでいました

※締切は開催日の1ヶ月前。

※近鉄大和上市駅まで送迎あり。

《もくもく館 TEL 0746-53-2929》

匠の聚 (たくみのむら)

■親子で作ろう風見鶏

と き 平成24年 8 月18日(土)・26日(日)

10:00～16:00

定 員 15組 ※要事前申込

申込締切 18日は8月13日(月)まで。

26日は8月20日(月)まで。

体験料 1組3,000円

親子で参加できるワークショップ。あらかじめ用意した鶏のカタチのベニヤ板に着色して組み立てる、小さなお子様でも安心の簡単なワークショップです。

《匠の聚 TEL 0746-53-2381》

図書館 だより



今月のオススメ

『あらすじで読み解く 古事記神話』

三浦 佑之 著 / 文藝春秋



3巻からなる古事記の上巻(序)の部分より、イザナキとイザナミの国造りや、スサノヲによるヤマタノヲロチ退治神話など8つの神話を取り上げ、写真とともに詳しく解説しています。古事記に初めてふれる方におすすめの入門書です。

また、古事記ゆかりの地を訪れる際の予備知識としても。

図書館カレンダー

● 色の日が休館日 ●

日	月	火	水	木	金	土
❖			1	2	3	4
8	5	6	7	8	9	10
月	12	13	14	15	16	17
❖	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
❖						1
9	2	3	4	5	6	7
月	9	10	11	12	13	14
❖	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
	30					

《新しくいった本》 図書名／著者名／出版社名

- ◇『ケルベロスの肖像』 / 海堂 尊 著 / 宝島社
- ◇『山伏と僕』 / 坂本大三郎 文・絵 / リトルモア
- ◇『Think Simple -アップルを生みだす熱狂的哲学-』 / ケン・シーガル 著 / NHK出版
- ◇『空のしっぽ』 / 名木田恵子 作・こみね ゆら 絵 / 佼成出版
- ◇『ここにいるよざしきわらし』 / 荻原 浩 文 いぬんこ 絵 / 朝日新聞出版

【問い合わせ先】 村立図書館 TEL 5 2 - 0 1 4 4

第10回 川上村剣道交流大会のお知らせ

と き 平成24年 8月25日(土)

受 付 7:30

開会式 8:30

ところ 川上村武道場

(北和田・旧東小
学校体育館)



【問い合わせ先】

川上村教育委員会事務局 TEL 5 2 - 0 1 4 4

《第10回記念前日事業》

と き 平成24年 8月24日(金) 13:30~14:30

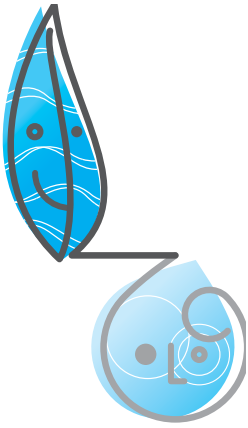
ところ やまぶきホール (宮の平)

◆シャンソン歌手・延みつきさんのコンサート

◆森本昭子さんの演奏

第10回大会を記念し、前日事業ではコンサートを開催します。参加費は無料です。

お気軽にご参加ください。



森と水の源流館だより

August, 2012 vol.116

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

残しておきたい川上村の山言葉 其の三十二

「はちくさり (蜂腐り)」

木を製品にした際、蜂がつついたようになった腐った木。

※川上村の方言の意味や使い方などについてのご意見をお待ちしております。



7月の水源地の森

7月の水源地の森

7月の水源地の森は、見上げると青々とした木々の葉っぱのすき間から見える深く吸い込まれそうな青い空が気持ちいい好天の日が多くなりました。水源地の森で寝転がって、空を見上げると、立って見上げるより、ずっとこの森の木々の大きさが伝わってきます。水源地の森ツアーや森林環境教育の機会などで、参加者のみなさんにしばしば体験してもらっていますが、そのたびに驚きや感動の感想の言葉をいただきます。

7月末に行った、水源地の森の巡視活動の際には、国の特別天然記念物「ニホンカモシカ」と遭遇しました。久しぶりの遭遇でしたが、多くの生き物を育む水源地の森の豊かさを象徴する生き物の一つに出会えて、感動しました。

7月30日には夏の恒例イベント、「森と水のワークショップ」を開催しました。

このイベントでは親子を対象に、源流さかのぼり体験（シャワークライミング）などを通じて、どっぷりと源流の水の冷たさや流れの速さなどを体感し、源流を育む森の大切さやすばらしさを体感してもらいました。奈良盆地や和歌山方面などからの参加がありました。

体験した子どもからは「源流の滝を登るのは大変だったけれども、とても楽しかった。」などの感想がありました。こうした「楽しかった」体験などを通じて、親子で源流の大切さを語り合う夏になればと願っています。



森と水のワークショップ



ニホンカモシカ

みんなで考えよう！ 川上村の環境

その26 ～ 川上村環境基本計画における具体的な推進事業として ～



活動推進の基本目標

1. 自慢の種（自然資源）を守り育みます。
2. 自慢の種と調和する快適・安全な環境を育みます。
3. 持続可能な仕組みを育みます。
4. 地球環境に対する人類の働きかけの素晴らしい見本になることをめざします。

焼却炉の撤去をお手伝い！

処分費用を負担していただくだけで、焼却炉の「解体・収集・運搬」にかかる作業を村がお手伝いします。

ぜひ、この機会をご利用ください。

◆個人負担

5000円～1、0000円程度

※通常の粗大ごみの処理と同等の費用を負担していただきます。

◆処分の対象となる焼却炉

- ・ 以前に村が配布したもの
- ・ 個人で購入した小型のもの
- ・ その他（ドラム缶など）

◆処分の対象外の焼却炉

- ・ 中型・大型のもの
- ・ 事業所のもの
- ・ 家庭用でも容易に解体ができないもの

◆処分の条件

焼却炉を処分する際、「焼却灰・燃え殻」等は、所有者が全て取り除いてください。

※袋（定めなし）に詰めているものは、焼却炉と一緒に持ち帰ります。

◆申込期限

平成24年9月30日まで

これまで申し込みのあった“400基以上”焼却炉の処分を行いました。
村内には、まだまだ放置されている焼却炉があります。

このため、昨年に引き続き、数量を把握し処分を行います。

◎焼却炉の処分を希望される方は、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】役場生活環境課 TEL 52-0111

リウマチ医療講演・相談会

と き 平成24年 9 月 2 日(日) 13:00~16:00

ところ 県社会福祉総合センター

参加費 無料

《講 演》

◆関節リウマチとリハビリテーション関節リウマチと手術 藤井唯誌先生(香芝旭ヶ丘病院)

◆関節リウマチ診療の未来像

東 光久先生(天理よろづ相談所病院)

相談会 講演の先生による療養相談

【問い合わせ先】 日本リウマチ友の会奈良支部
(土谷方) TEL 0744-27-9735

遺言と成年後見制度に関する説明会

と き 平成24年 9 月 17 日(月・祝)
13:00~16:30

ところ 奈良商工会議所会館 4 階(奈良市)

内 容 「遺言と任意後見」
「法定後見制度と事例紹介」

受講料 無料

【問い合わせ先】

奈良県司法書士会 TEL 0744-22-6677

のびっ子広場

と き 平成24年 8 月 24 日(金) 10:00~11:30

ところ やまぶき保育園(宮の平)

内 容 「お菓子作り」

【問い合わせ先】

やまぶき保育園 TEL 52-0019

役場住民福祉課 TEL 52-0111

第30回紅葉祭のお知らせ ♪21人smile全開紅葉祭♪

と き 平成24年 9 月 16 日(日)

8:30開場 / 9:00開演

ところ やまぶきホール(宮の平)

《内容について》

午前の部 ●舞台発表 ●展示発表

午後の部 ●映画鑑賞

【問い合わせ先】 川上中学校 TEL 0746-52-0014

川上村役場職員を募集します

詳しくは広報 7 月号、ホームページをご覧ください。

募集職種 一般行政職 **採用人数** 2 名

職務内容 本庁勤務し、一般行政事務に従事。

受験資格 昭和58年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日までに生まれた人で、地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない人。

受付期間 平成24年 8 月 17 日(金)まで

※土・日曜日は受付できません

試験期日・試験会場・試験科目

	第 1 次試験	第 2 次試験
試験期日	9 月 16 日(日)	10 月中旬
試験会場	川上村役場	
試験科目	教養(高卒程度) 事務適性検査	面接

合格発表 平成24年10月下旬

採用日 平成25年 4 月 1 日

【問い合わせ先】

役場総務税務課(人事係) TEL 0746-52-0111

ホテル杉の湯社員を募集します

募集人数 正社員 4 名程度

就業場所 湯盛温泉ホテル杉の湯

募集職種 フロント事務所・接客係

職務内容 フロント事務所内の業務全般
ホテル内での接客業務(お料理のご提供・お客さまのご案内など)

応募資格 平成25年 3 月卒業見込みの新卒者

提出書類 履歴書(写真貼付)
卒業(見込み)証明書

受付期間 平成24年 9 月 5 日~10日まで

選考日時 平成24年 9 月 16 日以降

選考内容 個人面接・筆記試験

採用日 平成25年 4 月 1 日

申込先 〒639-3553 川上村大字迫1335-7

財グリーンパークかわかみ

備 考 応募前職場見学も随時実施中。見学希望の方はお問い合わせください。

【問い合わせ先】

財団法人グリーンパークかわかみ事務局

TEL 0746-52-0333

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)



川上俳句会

藤本安騎生選

特選 ダム放流のサイレン響く梅雨籠り 新子谷生子(北和田)

「評」この句では季語「梅雨籠り」がよく働いている。ダムの水位が上がって、放水するサイレンで下流への注意を促しているのだ。家の中で聴いている。

特選 三枝の祭も過ぎし大和かな 住川 準典(武木)

「評」率川神社で執り行われる百合祭である。六月十七日であるが、田植も終った大和の予祝のように思える。大和を称えてゆつたりと詠われている。

特選 蛸燻べ消えかかれるを一振す 新子谷生子(北和田)

「評」山里の生活では木綿の古布を綯った蛸燻は、必需品である。一振りする所作を想像して共鳴される読者は多いだろう。俳句は楽しい文芸である。

佳作 濁流を分くる大岩夏燕 辻井 清子(大滝)

すずらの鉢一つ置く柚の家
上田 一郎(伯母谷)
峯に雲かかりて空は夏に入る
竹田サダ子(大滝)
荒梅雨や増水の川又見たる
枅 恭子(東川)
廃屋は杉山の中苔清水
前田 景子(大滝)

入選 穴熊に畠の蚯蚓取られけり 古瀬 和子(大滝)

やまぶきバスは警報時も運行を継続しますが、雨量通行止めの区間は走行しません。

【問い合わせ先】 役場総務税務課 TEL 0746-52-0111
奈良交通吉野営業所 TEL 0746-52-4101

ホントは怖い！ 水辺のレジャー

夏本番！川や海、プールや公園での水遊びが楽しいですよね。でも、ちょっと待って。水辺の事故は毎年数多く発生しています。次の注意事項を守って暑い夏を楽しく快適に乗り切りましょう。

- ・子供だけで河原や海に行かない。
- ・水遊びをしている子供から目を離さない。
- ・お酒を飲んで泳がない。
- ・大雨の後に河原や海に行かない。
- ・無理な飛び込み、潜りをしない。



万が一、水の事故にあった場合は直ぐに落ち着いて119番通報してください。

過去5年間の水難事故発生件数(当消防本部管内)

年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
件数	4件	7件	6件	5件	4件

吉野広域行政組合消防本部 TEL 0746-32-1011

村県民税・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料(2期)の納期限は8月31日(金)です。

納期限までに納めましょう。

平成25年2月15日までに口座振替の登録をいただいた方から抽選で「ホテル杉の湯などで使える商品券」があたるキャンペーンを実施しています。この機会に便利な口座振替もご利用ください。

【問い合わせ先】 役場総務税務課・住民福祉課 TEL 52-0111

年金制度が改正されます！

国民年金保険料の納め忘れがある皆さんへ

平成24年10月から3年間に限り、

納付可能期間を10年間に延長します

現在、未払いの国民年金保険料を^{さかのぼ}って納められるのは過去2年分までです。

しかし、平成24年10月1日から3年間に限り、過去10年分まで遡って納められるようになります。

◆(注意) 老齢基礎年金を受給している方などは対象となりません。
3年度以上遡って保険料を納付する際は、加算金がかかります。

詳しい内容が知りたい！

お近くの「年金事務所」へお越しください。

お電話による相談は「ねんきんダイヤル」へ

TEL 0570・05・1165、TEL 03・6700・1165

※受付時間は月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分まで。

※月曜日(休日明けの初日) 午前8時30分～午後7時まで。

※第2土曜日は午前9時30分～午後4時まで。



かわかみの草花

ヤマジオウ (山地黄)

山地の木陰に生える、地下茎を長く地中に伸ばして繁殖する、淡紅色の唇形花を数個付ける。和名は葉がゴマノハグサ科のジオウに似ているから。

花期 7月～8月

川上村の小さな生きものたち



ヤマカラスアゲム

チョウ目アゲハチョウ科のミヤマカラスアゲハの幼虫は、陀羅助をつくるキハダの葉を食べて育ちます。

1年で卵から成虫(チョウ)までのサイクルを4回くり返し、蛹で冬を越します。成虫は5月から9月頃まで見られますが、5月に見られるのは小型でとても鮮やかな色彩をしています。が、夏場に発生するのは大型で鮮やかではありません。

写真・文 伊藤ふくお

村の人口

7月31日現在

人口総数	1,740 人 (+6 人)
男	820 人 (+4 人)
女	920 人 (+2 人)
世帯数	898世帯(+3世帯)

7月中の異動

転入	4	転出	0
出生	0	死亡	2

(注意) 7月9日に住基法が改正。今回の人口数等から外国人を含んでいます。

ふれあい映画会

「ももへの手紙」

とき 平成24年 8月18日(土)
13:00開場/13:30上映
ところ やまぶきホール(宮の平)
料金 高校生以上 500円
中学生以下 無料

【問い合わせ先】

川上村教育委員会事務局 TEL 52-0144

おくやみ (敬称略)

松村 アヤコ(人知)

7月12日 86歳

辻村 ナラエ(高原)

7月19日 82歳